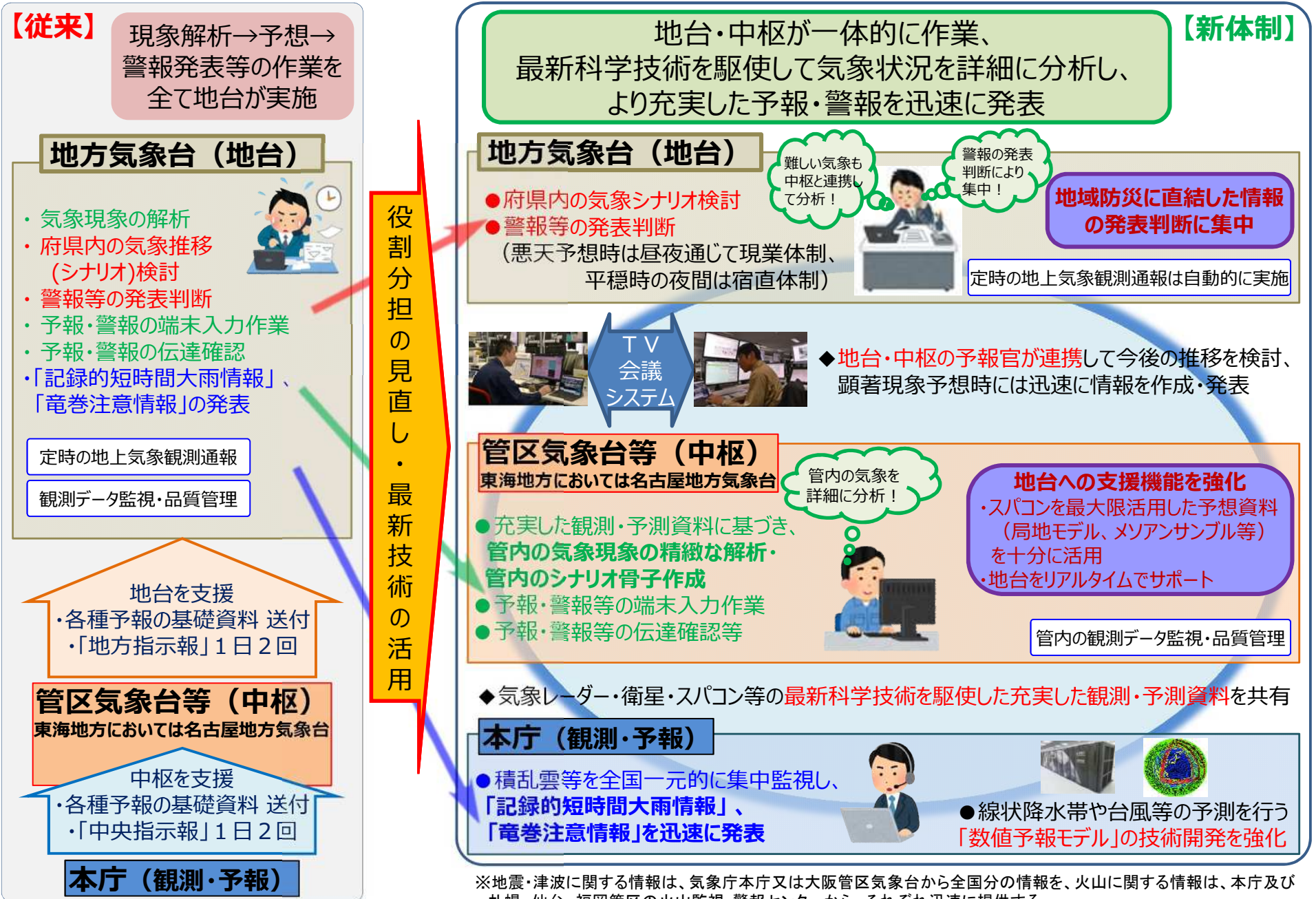


# 地域支援の取組について （西部地域で試行中）

静岡地方気象台

# 地方気象台等における「観測・予報業務」の強化 ～最新の科学技術を駆使した実施体制～



※地震・津波に関する情報は、気象庁本庁又は大阪管区気象台から全国分の情報を、火山に関する情報は、本庁及び札幌、仙台、福岡管区の火山監視・警報センターから、それぞれ迅速に提供する。

# 地域に根ざした気象台の防災業務の強化

**各市町村の窓口となる職員（地域担当）を配置し、**  
**平時から「顔の見える関係」を構築することで、地域防災力の向上に直結する取組を推進します！**

## 地方気象台「各市町村窓口」

- 顔を覚えてもらい緊密な関係構築
- 緊急時対応の知見・認識を共有



- 平時から「顔の見える関係」を構築し、気象・気候・地震・津波・火山等に関する市町村からの問い合わせに“ワンストップ”で対応
- 地域の「我が事」感をもった防災力向上に直結する取組を、気象台を挙げて推進
  - 地域に密着した日頃からの解説
  - 防災対応マニュアル等への助言
  - 実践的な研修・訓練
  - 気象や地震・津波・火山等の特性・災害リスクを共有
  - 協議会の枠組での防災対応検討（河川、火山）等

● 常に同じ窓口となる気象台職員が対応するため、日頃から相談しやすく、ワンストップでのやり取りが可能に。  
 ● 平時の関係構築や、市町村個別の特徴を踏まえた実践的な研修や訓練を通じ、緊急時には気象台と連携した円滑な防災対応を行うことが可能に。

## 各地域の個々の市町村等に対し、より積極的かつ責任をもって対応

平時には

- 顔を覚えてもらい緊密な関係構築
- 緊急時対応の知見・認識を共有



相乗効果で推進

地域防災官、  
 地域防災係を設置  
 (H31概算要求)

緊急時には

- 顔の見える関係で切迫感が伝わる解説を
- 情報を的確に「理解・活用」した防災対応へ



※JETT（気象庁防災対応支援チーム）

# 地域防災支援チーム試行 静岡地方気象台

今後計画されている地方気象台の体制移行に向けて、地域防災支援チーム（以下、支援チーム）の試行を実施し、支援チームの実効性について課題等の抽出、整理を行う。  
試行は西部地域（7市1町）の1チームを編成し、実際に各種支援業務を行う。



## チーム編成

チーム長：防災気象官

チーム員：火山防災調整係長、防災情報係長、技官

サポート：予報官

## 試行期間

2019年4月～2020年3月（予定）

## 主な取り組み

地域に密着した日頃からの解説

防災対応マニュアル等への助言

気象や地震・津波・火山等の特性・災害リスクを共有

実践的な研修・訓練

協議会の枠組での防災対応検討（河川、火山）等





## 顔の見える関係作りのためのツール…チームロゴ



支援チームのロゴ

気象庁マスコットキャラクター「はれるん」と静岡県イメージキャラクター「ふじっぴー」を使用して連携しているイメージを表現。